

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 05 06	中期総合計画主要施策番号		3-08	担当課	部・課	建設部 河川課
事業名		河川等災害関連事業(公共(河川))					内線	3445
							E-mail	kasen@pref.nagano.jp
事業の概要等	事業の目的	原形復旧のみでは事業効果を十分に発揮出来ない被災箇所に対して、改良復旧工事を含わせて行うことにより、再度災害の防止と住民の安全度の向上を図る。						
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 自然の障害物による流下能力の低下など被災の遠因となる要素が存在する場合、被災箇所だけを復旧しても再度災害の可能性を除去できない。						
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 災害復旧事業は原形復旧が原則であるため、事業範囲が限られている。						
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 再度災害防止のため、河川整備等を災害復旧事業と合わせて施工し、解決を図る必要がある。						
	事業内容	・被災箇所と連続する未災箇所を含む一連区間について、再び災害を被ることがないように一定計画に基づき改良復旧を行う。 ・改良工事費に対する補助(補助率:【国】1/2 【県】1/2) 災害関連事業:改良費が2400万以上6億円以内 (3箇年施工)						
実施期間	S58 ~		根拠法令等 災害関連事業取扱い要領					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価
	平成18・19年度の河川等災害関連事業の工事を早期に完成し、再度災害防止を図る。		平成18年災害及び平成19年災害の関連事業を着実に進め、平成21年度までに完了する。			平成20年度末現在、18年災の工事進捗率は96%、19年災の工事進捗率は97%である。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要	
	最終予算額 (A)		千円	275,540	257,669	124,960	国庫・県単	公共
	決 算 額 (B)		千円	178,215	135,177	-	実施方法	直接
	B(H20はA)のうち一般財源		千円	4,108	2,588	8,481	歳出節別内訳等	予算現額(最終予算額+繰越額) 257,669
	概 算 人件費	従事する職員数	人	3.00	3.00	2.00	(単位: 千円)	1箇所あたりの平均工事期間 3年
	概算事業費 (B(H20はA)+C)		千円	178,215	135,177	124,960		
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績	
	実施箇所数(18年災)		箇所	1	1	1		
	実施箇所数(19年災)		箇所	1	1	1		
			箇所					
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明					
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・激甚な災害があった地域では、二度と同じような被害が起こらないような対策が求められ、事業のニーズは高い。 ・事業は、施設の管理者である県が実施する。	
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり			
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり			
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり			
	課題の総括		・将来にわたっての減災を見据えた上で、改良による効能を最大限に発揮できるような的確な箇所選定を行うとともに、事業の効果を高める必要がある。 ・再度の災害に備え、事業の効果を一日も早く発揮するために、引き続き効率的な事業執行による早期竣工に取り組む。					